

県内初!

牛深港が「みなとオアシス」に!

牛深港を核とする同港の周辺地域が11月25日、「みなとオアシス天草牛深」として国土交通省・九州地方整備局の「みなとオアシス」に認定・登録されました。九州では8番目、県内では初の認定・登録となります。そこで今号では、「みなとオアシス」の概要や今後の取り組みについてお知らせします。

「みなとオアシス」って何?

「みなとオアシス」とは、「みなと」の施設やスペースを活用しながら、地域住民が中心となってにぎわいのある観光・交流の拠点を創出し、地域活性化を行うことを目的に設けられた制度で、国土交通省の地方整備局が認定・登録するものです。全国で69港が登録さ

れており、九州では大分県の大分港や別府港、鹿児島県の鹿児島港などがあります。

「みなとオアシス」になったらどうなるの?

「みなとオアシス」に登録されると、国土交通省から次のような支援が受けられます。

- みなとオアシスのシンボルマーク（右下参照）の使用
- 国土交通省や地方整備局などのホームページによる広報
- 道路地図への掲載や道路標識設置の支援

今後の取り組み

今後は、牛深地域内の商工団体やまちづくり組織など18の団体で構成する「牛深みなとまちづくり協議会（会長 益田政昭・牛深商工会議所会頭 ほか委員17人）」が主体となり、市と連携を図りながら、牛深ハイヤ祭りや牛深あかね市など既存のイベントのサポート活動をはじめ、みなとまちの魅力づくり・にぎわいづくりに向けた事業など、「みなとまちづくり」に向けた取り組みを行います。

※「みなとオアシス天草牛深」に関する詳しいことは、本庁（別館）・河川港湾課河川港湾係 ☎1111 内線2606へお尋ねください。

12月3日に登録証を交付



12月3日、牛深あかね市の開会式典で登録証の交付式が行われ、鈴木弘之・国土交通省九州地方整備局・港湾空港部長(左)から、安田市長に登録証が手渡されました。

潮風薫る天草路を力走! 天草マラソン大会

11月27日、「東日本大震災復興支援 第6回天草マラソン大会」が本渡運動公園陸上競技場前（ハーフはゴルフ練習場横）をスタート・同競技場をフィニッシュとするコースで開催されました。大会には、フルマラソン（日本陸上競技連盟公認コース）とハーフマラソンに、県内外から過去最多となる2,701人（フルマラソン1,298人・ハーフマラソン1,403人）が参加。選手たちは、海沿いの自然あふれる天草ならではのコースを肌で感じながら、力走していました。

そして、今回はスペシャルゲストとして、シドニーオリンピック・女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんが参加。開会式で「選手の皆さん1人ひとりとハイタッチをしたいと思います」と話し、おなじみの「Qちゃんスマイル」を見せると選手や観客からは大きな歓声が上がっていました。

このほか、フィニッシュ地点の同競技場では、地元の特産品がずらりと並んだ物産販売なども行われ、多くの来場者でにぎわいました。

なお、大会結果は次のとおりです。

- 大会結果（1位のみ。敬称略）…フルマラソン男子・森本幸司（熊本市）、同女子・江崎由佳（福岡県）、ハーフマラソン男子・西村直哉（宇城市）、同女子・一村多美代（球磨郡相良村）



▲全力疾走でゴールテープを切る選手



▲ボランティアスタッフが大会をサポート



▲笑顔を見せる高橋さん



▲高橋さんにタッチを求める選手たち



沿道からは盛んな声援



遠見山から見た牛深港と周辺のまち並み



△シンボルマーク